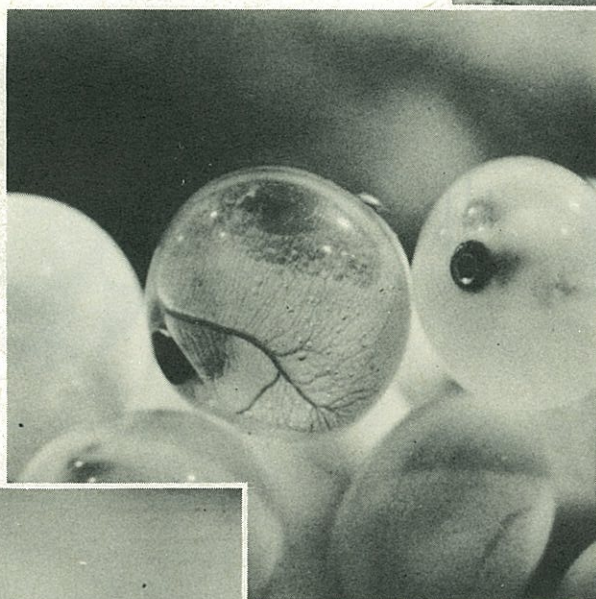
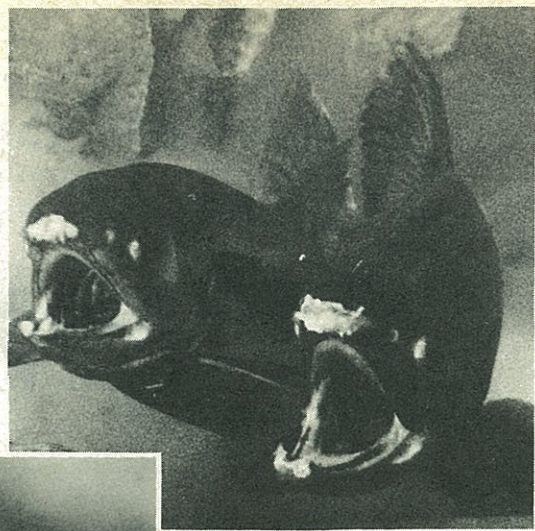


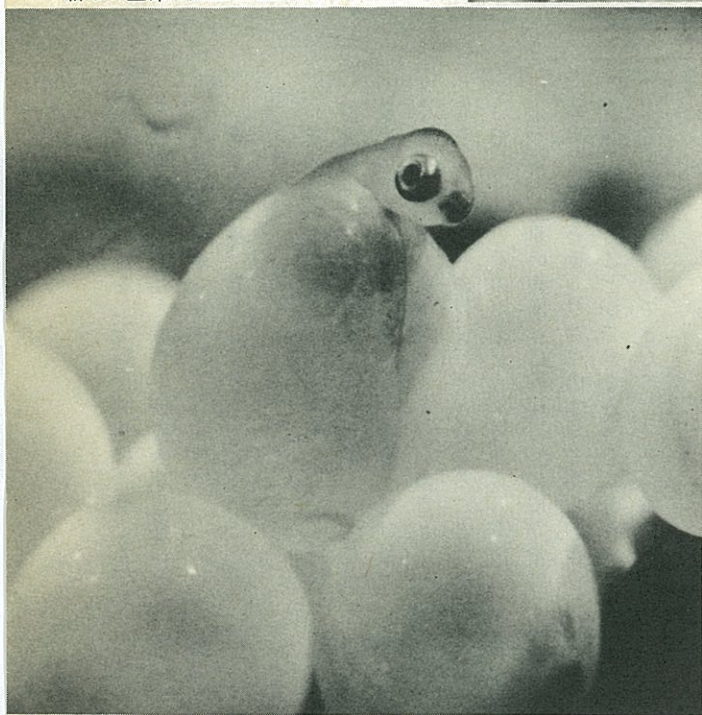
産卵

産卵(十月十九日)



卵に目が産卵から二十二日目

卵の膜を破って
新しい生命の誕生!!(産卵から50日目)



新しい生命の誕生

卵の膜を力強く突き破り新しい生命の誕生です。

ふるさと館の水槽でサケが産卵したのは十月十九日でした。産卵から二十二日目には、目や血管がはっきりわかるようになり、五十日目には一つの卵の膜が破れサケの元気な赤ちゃんが顔を出しました。

(最新情報は十ページ、サーモン通信をご覧ください。)

まぐべつ

'81 (昭和56年)

1

348

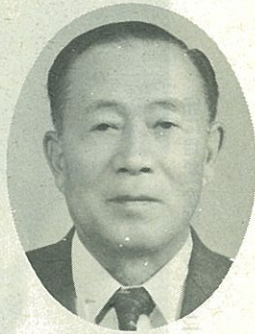
●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555)4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

年頭のごあいさつ

希望あふれる年を迎えて

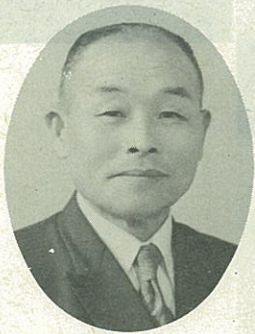
幕別町長

大石 忠夫



町議会議長

山田 栄



昭和五十六年を二万町民の皆様と共に希望と期待をもって迎えることができ、皆様から新年のお慶びを申しあげます。

過ぎた一年、忘れることのできないことがたくさんありました。

その中の一つに、米国で打ち上げた、土星探査機ボイジャー号が、何か月もかかって土星に接近し、今は、土星から離れ、飛び続けやがて、宇宙の微細な星となるとのこと。もちろん、私たちの目に二度と触れることはないでしょう。そのボイジャー号からの電波によつて、土星の表面には秒速百以上の風が常時吹いているとか。リングの本数や衛星の数など詳しく知ることができなかったことが、たくさん知ることができたこと。その電波の強

希望に満ちあふれた輝かしい新年を迎え、幕別町議会を代表し謹んで新年のお慶びを申しあげます。

幕別町は、現在、人口二万人に達し、十勝管内でも数少ない人口増加の町として着実に発展を続けてまいりました。また、本年三月には、新帯広空港が開港しますが、隣接町としての地理的好条件にあつて、更に飛躍的発展が期待されるのであります。

さて、八十年代に入り世界経済はますます深刻な不況の様相を深め、貿易産業に大きく依存している我が国経済に、大きな影響を及ぼしています。昭和五十六年度の国の予算枠組みのなかでも、地方交付税には、かなりの伸びをみているものの、財政再建の柱として国債発行三兆円減額を基調に政策的経費の伸びはほとんどみれておりません。従つて、地方

さが、わずか二十ワットの出力で地球に届いた時は、一兆分の三ワットの一億分の一という極微弱なものとのこと。それを捕え処理して私たちのテレビに写し出しているとのこと。

その電波が、地球に届くまでには、一時間三十分（月から地球までは一秒、太陽からは六分とのこと）かかる。その土星だつて、地球から近い距離の一つとか。その何万倍の距離にある星を私たちは夜空に見ているのだとか。

何んとなくゆとりのある正月、こんな夢のような現実や小さな人間が、こんなすばらしい力をもっていることを静かに考えてみるのも楽しいことではないでしょうかと新年のご挨拶にいたします。

自治体の各種補助事業に対する引き締めや、地方債の減債方式とり入れなどが充分予測されます。

また、昨年の冷害の影響もあり、町財政の前途は、樂觀をゆるさないものがあります。

幕別町議会といたしましては、この厳しさを乗り越え、明るく豊かな町づくりを進めるため、町政諸般の審議を通していつそうの努力をいたす決意であります。町政に対する皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様のご清福とご繁栄を心からお祈り申しあげ、また、農家の皆様には、昨年の冷害にくじけることなく、本年の生産にご努力されますことをお願い申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

自然のエネルギーを大きく活用

太陽熱・地熱・風力は、石油に代るエネルギーとしていま、研究、開発が進められています。町では、これらエネルギーを積極的に取り入れようと温水プールにソーラーシステムを、また、幕別温泉ホテルではより高温の新泉源をと工事が行なわれています。

温水プールに太陽熱を

国内では、昭和四十九年のオイルショック以来、石油に代る新しいエネルギーの研究、開発が進められています。その中で、主も無公害で無限のエネルギーとして期待されているのが「太陽熱」です。

町では、この「太陽熱」を幕別温泉ホテルの隣りにある温水プールに利用しようといま工事を進めています。

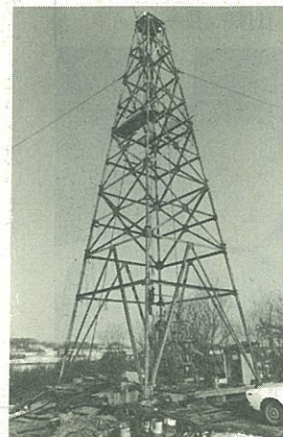
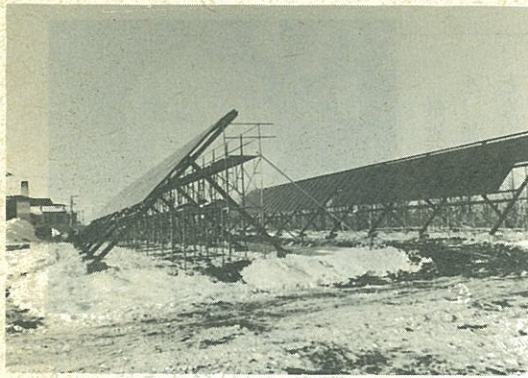
無限の太陽熱を集熱パネル（コレクター）で受け水温を上げるのに利用するのですが、集熱パネルは百四十枚と水泳施設では全国一の規模のもので、集熱パネルは、屋根に乗せるのが構造上無理なため、地表設置方式がとられ温水プール東側に横二列に設置されます。

総工費は、二千九百万円で、一月三十一日完成予定です。

新泉源の掘さくに成功

町では、幕別温泉ホテル付近により高温の新泉源を求めて、春から温泉ボーリング工事を進めてきました。この度四十二度を越す湯脈の掘さくに成功しました。

現在、幕別温泉ホテルが使用している泉源は、三十三・九度と低く、一度加温して使用してきました。ところが、昭和四十九年のオイルショック以降、加温に使われる燃料費が年間八百万円にもなる温泉ホテルの経営を大きく圧迫することから、道立地下資源調査所に新泉源の調査を依頼してきました。その結果、九〇%以上の確率



が、引湯距離が長いため二度程度湯温が下がると考えられます。しかし、現在、使用している泉源に比べ五度以上高温となるため加温に使われる燃料はかなり節減されます。

人口は二万八十五人

昭和五十五年十月一日現在で行なわれた国勢調査の人口と世帯数に対する結果(概数)がまとまり報告されました。

その結果、人口では、千六百四十一人増の二万八千五百八十五人、世帯数は、八百六十一世帯増の五千八百七十八世帯となりました。

また、地区別では、札内市街地区の増加が著しく、人口で二千八百八人の九千五百九十九人、世帯数は、七百二十三世

		世帯数			人口		
		50年	55年	増減	50年	55年	増減
幕別地区	市街地区	1,646	1,741	95	5,595	5,550	△45
	その他の地区	540	537	△3	2,307	2,110	△197
	計	2,186	2,278	92	7,902	7,660	△242
札内地区	市街地区	2,033	2,756	723	6,951	9,059	2,108
	その他の地区	429	508	79	1,922	2,029	107
	計	2,462	3,264	802	8,873	11,088	2,215
糠内・駒島地区	糠内地区	260	244	△16	1,186	967	△219
	駒島地区	109	92	△17	483	370	△113
	計	369	336	△33	1,669	1,337	△332
合	計	5,017	5,878	861	18,444	20,085	1,641

とり年生まれ

ことしは、とり年です。町内には十二歳の子供たちから九十六歳のお年寄りまで八世代のとり年の方がいます。そこで、八世代、十一人の方に、新年の抱負を聞いてみました。



明治18年生まれ
旭町 中村 カネさん

最近はある、かぜもひかんと、元気で病院さかかったことない。病院さ行ったら「ばあちゃん何さ来た」とお医者さんにおこられよった。
嫁や孫に大事にされて、わしゃとつても幸せじゃあ。孫なんか「ばあちゃんの仕事は留守番だから。外は車が通り

よるから、あぶないから」と毎日言うてくれる。
わしも、足が弱くなったからあまり外さ出たことない。
もし、体さ言うこときいたら、ホーさ持つて畑の草とりをしたい。昔はなあ、これでも農家やつとつたんじゃ。
そうじゃのう。いま、楽しみ言うたら何じやろのう。
うん、いっしょに住んじよる孫さ嫁さ決まって、孫さ花嫁姿さ見ることかのう。
孫さ、早よう嫁さ行け言うたら「それまで長生きして」さ言うて。それまで、わしやも生きとらんとのう思うとる。

そうだね、平凡だけど、家族みんな健康で楽しく暮らせたらと思うね。また、公区長をやっているので、進んだ地域を見て新しい活動を考えていきたいし、よりコミニケーションが高まればと考えています。それと、町議として、町の発展を考えて行きたい。



昭和8年生まれ
千住 篠島 美子さん

まず家庭の主婦として、家族みんなが健康でけがのないことを願っています。現在、町婦人団体連絡協議会の副会長をやっています。がより会が発展するよう努力したい。また、書道を始めたので仕事の合い間に打ち込んでみようと思っています。



明治42年生まれ
本町 勝山 春代さん

気は若いのですが、年だから、規則正しい生活をして健康に暮りたい。旅行が好きで、海外旅行とも思いますが、道内でもまだ行つたことのない所へ行つてみたい、また、しらかば大学やボランティアで学んだことをもつと充実したものにしたいと思えます。



大正10年生まれ
緑町 山崎 長一さん

三十八年まで礼文島で漁師をやっていました。早いもんで八十四歳になってしまつた。そうじゃのう、体に自信がついたら、七人の子供たちの家をもう一度旅してみたい。それと、いっしょに暮している孫に早く子供（ひ孫）ができるのを楽しみにしているのだが。

明治30年生まれ
札内北栄町 谷 勢一郎さん



迎春

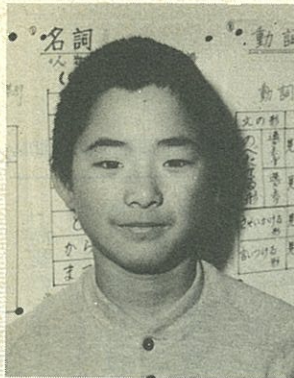
幕別町役場

町長 大石 忠夫
助役 高橋 一男
収入役 小尾 丁二

幕別町議会

議長 山田 栄
副議長 黒島 通
議員 佐藤 糸江
加藤 秀雄
石原 郁夫
国枝 光明
岸上 利雄
林 源一
八十島宗正
前川 正
西田 利夫
廻淵 茂
笹島登喜生
須田 起
森脇 仁
折笠 要
中寺常次郎
山中 増雄
水野 正盛
高橋 勇
六郎田 勇
山崎 長一
小田 善一
関口 茂男
稲毛 空征
伏屋 隆徳

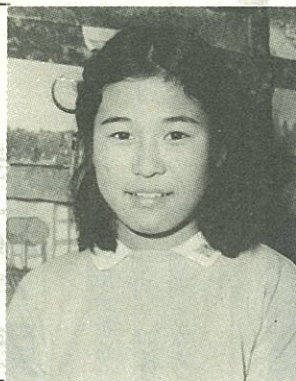
われら



古舞 小倉 賢士くん

スポーツノ 特に野球とスケートが上手になりたい。学校では、最上級生になるので小さな子たちの面倒をよくみて、楽しく友だちと勉強したい。家は農家で牛を飼っています。お父さんの手伝いをしたり、弟や妹とケンカをしないで仲よくしたいと思います。

昭和四十四年生まれ



中里 岡和田裕子さん

ことしは、最上級生になるので低学年の子供たちの世話をよくみてあげたい。また、勉強・スポーツをきちんとやりたい。家では、小鳥を飼っているので大事にしたい。お父さんやお母さんのお手伝いもしたい。春には、外国から馬がくるので楽しみです。

昭和四十四年生まれ



このカットは土井博詞さん(明野)の作品です。



昭和32年生まれ
駒島 長崎 恭子さん

二十四歳だし、親の手伝いから脱皮して、農業経営を真剣に考え取り組みたい。そのために、一度アメリカやヨーロッパの大型農業を研修してきたいと思う。町青連協のリーダーとして一年やってきた。新しい仲間と、もっと充実した活動をして行きたいと思えます。

昭和32年生まれ
軍岡 谷地田 清さん



医療の荒廃が叫ばれている時代、患者さんとの信頼関係を大切に地域医療の向上に努力したいと考えています。仕事柄、自分の時間がなかなかとれないですが、今年、ゴルフ(現在ハンディ二十一)に打ちこみ、また、家族と旅行がしたいですね。



昭和20年生まれ
日新 中村 明子さん

えっ、年がばれちゃいますね。そうですね、主人や子供たちが、病气やけがもせず楽しく暮せるよう心がけたいですね。また、ことはお金を貯めて、家族で九州旅行をしたいと考えています。日新保育所の保母をやっているので子供たちとも楽しくやりたい。

昭和20年生まれ
錦町 景山 倫照さん

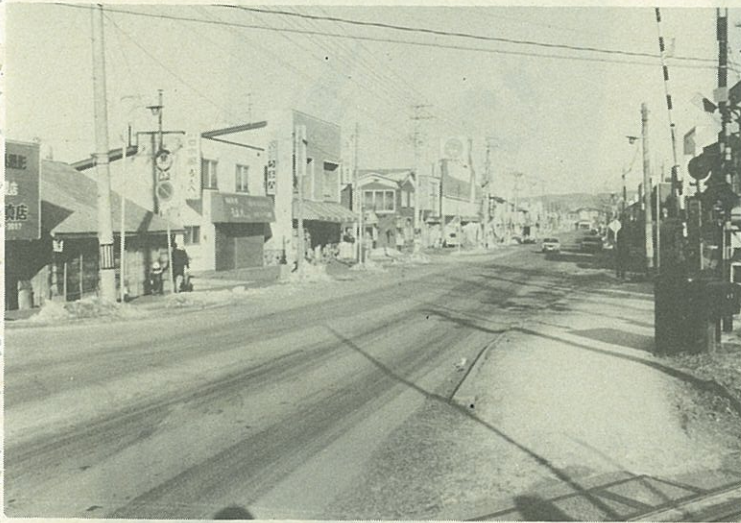


責任ある行動をして、親に心配かけないようにしたい。「もう、二十四歳」という気もして、身が引き締る思い。友だちの中には、お嫁に行った人もいて、私もという気もします。ただ、お嫁に行く前に、グループでどこか旅行をしてみたいですね。

- 幕別町農業委員会
- 会長 中寺常次郎
 - 会長代理 森脇 仁
 - 委員 佐伯 誠吉
 - 七島 信雄
 - 西田 利夫
 - 今本 仁
 - 佐藤 忠幸
 - 山崎 武雄
 - 上原 忠雄
 - 難波 春男
 - 中島 甚雄
 - 妹尾 寿男
 - 鈴木 良秋
 - 寺林 幸雄
 - 富谷 政男
 - 浦田 邦夫
 - 坂下 庄蔵
 - 廻淵 茂
 - 片山 利光
 - 杉本 峰夫
 - 奈良 武一
 - 中村 勝美
 - 高橋 勇
- 幕別町教育委員会
- 委員長 黒川 喜雄
 - 代理 辺見 徳明
 - 委員 新田 彰生
 - 梅田 敏男
 - 福田 省市

業の発展を

商店街診断結果から



幕別商店街

帯広へ購買力が流出

「商業の近代化を進め、魅力ある商店街づくりを」と「商店街診断」が道商工指導センターから報告されました。これは、町と町商工会が、幕別町の商業の将来方向

を探ろうと、道と道商工指導センターに調査診断を依頼し進めていたものです。この報告を基に皆さんと商業の発展を考えてみたいと思います。

報告された「商店街診断報告書」によりますと、幕別町の商業の発展には次のような問題点があると指摘されました。

幕別町の販売高水準を示す人口一人当り販売高は四十一万五千元（五十一年商業統計）と十勝管内でも十四位と低く、また、全道平均六十三万二千元と六六％にとどまっています。これは、幕別町の商業人口が、一万二千人程度と非常に少

表-1 人口1人当り販売高全道比較指数

品目	指数	品目	指数
男子洋服	1.3	牛乳・料理品	54.7
婦人服・子供服	48.5	家具	25.5
呉服・寝具	45.7	金物・荒物	46.3
かばん・袋物	40.9	家電	52.2
肉	32.0	医薬・化粧品	33.8
酒・調味料	62.2	書籍・文具	45.6
各種食料品	123.2	玩具・時計・メガネ	15.9
野菜・果物	2.9	自転車	54.8
菓子・パン	19.4		
米	90.1	(飲食店)	26.0

(全道を100とした場合)

ないことを意味しています。さらに、品目別の人口一人当り販売高による販売水準においても「表一」に示すように全道水準を大きく下回っています。このように、町民の皆さんは、町内で物を買われていないといえます。それでは、どこにその購買力が流れているかという点と帯広市がほとんどです。小売販売高を構成する主要素には、家計消費購買力と事業所購買力があり、幕別町の場合、合計百二十四億四千七百八十万円（昭和五十三年）と推計されています。このうち、帯広市への購買力流出は幕別から十七億七千三百五十二万円、札内三十八億六千六百八十三万円と推計されます。このように、帯広市への流出率は、三八・八％（札内五八・六％）にもなり、分後さらに、帯広指向が強まる傾向にあります。

「商店街の声」



町商工会事務局長
小路 俊勝さん

「報告書」によつて指摘された事項で実現可能なものから積極的に取り組み、魅力ある商店街づくりをしたい。

また、行政、商工会、町民の皆さんに参画していただき皆さんの商店街となるよう「町商店街振興協議会」（仮称）の設置も考えています。商店個々の努力はもとより、皆さんのご協力を賜りますようお願いいたします。



吉田時計店専務
錦町 吉田 賢二さん

「報告書」を読んで帯広への流出率の高さに驚きました。商店街に活気を取り戻すためには、商店が連帯意識を持ち共同売り出しなどを数多く企画して町民の皆さんとふれあいを持つようにしなければなりません。また、商店街の核となる共同店舗づくりを皆さんの手でやってみてくださいね。

商 限りない



札内商店街

購買力流出の原因は

魅力の少ない店舗構成

このように購買力が帯広へ流出する原因には、次のような要因があるといえます。

一つには、市街地が、幕別と札内に分かれて形成され、町民生活に利便性と娯楽を含めた楽しみを与える中心商店街が育ちにくい環境条件にあり商店街形成が遅れていることです。

二つには、帯広の第一次生活圏下において、帯広市への通勤者が三千人（五十五年推計）を超えて

いることです。しかも五十年以降において社会増の九〇%が前住居・

多いことも要因に考えられます。

近隣型商店街づくりを

商業振興はみんなの力で

それでは、このように伸び悩んで

いる幕別町の商業が発展するた

めにはどうあるべきなのか、皆さんと

地を帯広市としており気軽に買物やレジャーを求め帯広市へ出かけることとす。三つには、商業の内部条件です。それは、街路灯が暗く、花だん、装飾駐車場など環境整備がなされていないこと、買回り品特に衣料品を中心とする商業核がないこと、外装や陳列技術が未熟で、力のない店舗構成であることがあげ

街に町内で果し得ない都市機能を実現、消費生活や文化生活、買物飲食レジャーにおいて、都会的欲求を満たす場所と考えています。すなわち、帯広市商店街が十勝全域を対象とする広域型に對して、幕別・札内商店街は、日常生活を満たす近隣型といえます。「勧告書」では、近隣型商店街としての発展を示し、次のようなことが提案されています。

①魅力ある商店群のかたまり、すなわち販売拠点街区の確立が必要で、長期計画のもとに商業密度の向上、アーケードをはじめとする共同施設の充実、核店舗の育成を重点的に行なう

②商店構成において、おしゃれ商品の陳列が非常に少ない。消費者のニーズをつかみ、商品の質的内容のレベルアップが必要

③お客が楽しく買物ができるように言葉づかい、応待など接客サービスの向上が必要

④休業日の変更などで、日曜日にも営業を行なう

⑤商店街の共同宣伝、共同売り出しを積極的に実施する

⑥商店街に移動式花だんベンチなどを設置したり、街路灯を明るくするなど環境整備を行なう

以上のような提案がされています。しかし、商業の発展は、企業の努力はもとより消費者の町内で買物をするという協力が大切で

す。住みよい町づくりを進めるためにも町民が一体となった商業振興を行ないましょう。



小尾商店本町 小尾 公一さん

私も幕別で生まれ育ったのだから街を明るくにぎやかにしたい。そのためには、まず商店街に活気が出ることと思います。いま、商店を経営する同年代の仲間と研修会を開き新しい商店街づくりを勉強しています。商業の発展は、企業努力はもとより行政や町民の皆さんの考え方が一体となる必要があると思います。「商業委員会」を組織して皆さんで考えるのがよいのでは。



スーパーあかしや 札内泉町 木川 茂男さん

食糧品を主に販売していますが、お客さんの帯広流出は大きな問題です。札内の場合ほとんどの方が帯広に勤めており共働きの方も多く、仕事の後、買物をして帰宅する。これはやむをえないことと思います。ただ、商品の価格や新鮮度、種類などでは帯広に負けてないと思いますよ。せめて、日用品や食糧品は、地で買ってほしいと思いますね。



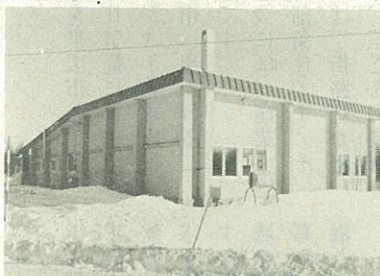
●泉町小ぐまクラブ
 泉町公区では、小ぐまクラブを
 結成し交通安全活動に積極的に取
 り組んでいます。十二月、日、
 クリスマスパークティーを兼ね、交
 通安全の学習会を行いました。



●第一回しらかば大学祭
 「大学なのだから大学祭をやろう」と第一回しらかば
 大学祭が、十二月七日、ふるさと館で行なわれました。
 大学祭では、長生きコンサートからチャリティバザー、
 作品展までいろいろな催しが行なわれ、特に、長生きコ
 ンサートでは交響曲「新世界」を演奏、訪れた人たちが
 アンコールがかかるほど楽しい一日でした。



町のニュース



完成した公民館

●駒畠公民館が完成
 駒畠地区の文化活動の中心となる駒畠公民
 館が十二月十三日完成、落成式が行なわれま
 した。総面積は三百五十六・四㎡、総工費四
 千六百万円です。また、公民館完成を祝って、
 駒畠甜菜種育苗育成組合（代表長田洋一）並び
 に駒畠コンバイン利用組合（代表同）から、ど
 ん帳一式と放送施設一式の寄贈がありました。



落成式で大石町長があいさつ

●青葉町第一公区で防犯診断
 最近、空き巣による被害が出て
 いることから、青葉町第一公区で
 は警察に依頼し、防犯診断を行な
 いました。その結果、幾つかの指
 摘事項もあり公区全体で防犯活動
 に取り組んでいます。



●美川担い手会館完成

工事が進められていた、美川担
 い手会館が12月20日完成しました
 総面積は、137.7㎡、総工費 11
 00万円で、地域の皆さんの集会施
 設として使われます。

賀正

- 町選挙管理委員会
 委員長 中川 秋義
 職務代理者 大野 春雄
 委員 田村 賢一
 中村 修
 公平委員会
 委員長 森田 宣雄
 職務代理者 沢井 重一
 委員 福野 黎明
 監査委員
 委員 谷地田 豊四郎
 廻瀬 茂
 固定資産評価審査委員会
 委員長 滝川 登
 委員 矢野 善七
 笹井 延雄



札内福祉センターで

町民会館で



●親子工作大会

親と子による工作大会が、十二月十四日札内福祉センターで、二十一日は町民会館でそれぞれ開催され、三百人の親子でにぎわいました。これは、町教育委員会と町子供会育成連絡協議会が主催して、親と子が協力して工作する楽しさを知ってもらおうと行なわれたものです。

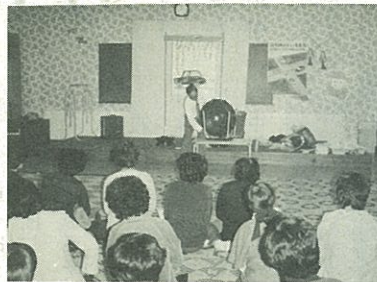
寄付者のお名前

■町へ……

▽高木茂さん(軍岡)から今日まで健康で過してこれたとして、学校図書購入に使ってほしいと百万円
▽幕別ライオンズクラブ(会長杉野国男)からオリエンターリング大会備品購入に使ってほしいと二十万円
▽藤原工業株式会社(旭町・代表取締役藤原清春)から創業三十周年を記念して社会福祉に使ってほしいと百万円
▽村瀬博さん(札内桂町)からさか

●女性ドライバー友の会

女性ドライバー友の会の研修会が12月7日わかば幼稚園において行なわれました。研修会では主に冬道の安全運転について話し合われ、タイヤチェーンの取付け方の実技指導もあり有意義な研修を行いました。



え保育所へスノーボード十台

■町社会福祉協議会へ……

▽タンポポサークルから五千元
▽加藤喜代房さん(札内中央町)から父が生前お世話になりましたと五万円
▽三浦フミさん(寿町)から夫が生前お世話になりましたと一万円
▽那須章子さん(本町)から夫が生前お世話になりましたと五万円
▽磯部判治さん(千住)から父が生前お世話になりましたと二十万円
▽匿名の方から千円を二件

■老人クラブへ……

▽幕別老人クラブへ七條光義さん(相川西)から三万円
▽同 那須章子さん(本町)から五万円
▽札内老人クラブへ千賀多金治さん(依田)から五万円
▽同、鎌田広道さん(札内中央町)から三万円
▽同、久保茂さん(札内青葉町)から三万円
▽同、磯部判治さん(千住)から二十万円

■その他団体へ……

▽大場チヨさん(南町)から身体障害者福祉協会幕別分会へ三万

●十勝愛育園にクリスマスプレゼント

十勝愛育園に、12月13日、幕別町ライオンズクラブ会長杉野国男さんとアピール委員長吉田栄逸さんが訪れ、サンタクロースに扮して子供たちにクリスマスプレゼントを手渡されました。また東京の山口児童文化研究所所長山口秀和さんと元大洋ホエールズ投手鈴木隆さんが13日訪れ、天体望遠鏡などの寄贈がありました。24日には、帯広電報電話局開局70周年を記念してオルガン一台が贈られるなど相次ぐプレゼントに子供たちも大喜びでした。



新会長に乙武さん

——幕別町保護司会——

幕別町保護司会の臨時総会が十一月二十二日開かれ、前田秀一会長が退任、新会長に乙武善正(南町)、会計に梅田敏男(札内あかしや町)が選任されました。なお現在、幕別町の保護司は次の皆さんです。

- 乙武善正(南町) 芝木梅(宝町)
- 古海公哉(猿別) 阿部イシ子(旭町)
- 角常久(札内あかしや町)
- 岸上喜之助(古舞)
- 古村康一(札内北町)
- 梅田敏男(札内あかしや町)
- 吉田正公(札内提町)
- 橋本喜作(依田)
- 大地繁治(札内春日町)
- 細川勝美(札内中央町)
- 林照男(寿町)
- (敬称略)

十勝愛育園に寄付

札内豊町で喫茶「ロッキ」を経営している松本康子さんから十勝愛育園にベビーカー二台(四万円相当)の寄贈がありました。これは、松本さんが店内に設けた募金箱に、同店を訪れたお客さんが募金してくださったお金で購入し寄贈されたものです。



松本さん(代理)から子供たちへ



幕別町ふるさと館

〒089-05 幕別町字依田384-3 ☎(01555)6-3117
AM9:30→PM6:00 毎週火曜日休館

大みそかの夜に バター作り

大正時代の製法を復活

大正時代に、幕別で実際に行われていたバター製造を、当時の製法で再現してみます。牛乳からクリームを分離する機械は新田牧場で、クリームからバターを作るバターチャーンという機械は福家牧場で使われたものです。

十二月三十一日、大晦日の夜十一時から館内の開拓小屋でバターを作りながら年を越しませんか？ 参加は自由。深夜十一時から元旦の朝九時まで無料開館しています。

このようすはNHKラジ

大正時代のバターチャーンを使って、12月14日のリハーサルも成功



オ第一放送の「ゆく年くる年」で一月一日・午前〇時二十分から、全国に向けて生放送されます。インタビュもありませんから、もしかすると新年早々あなたの声が、全国放送の電波に乗るかもしれない。大晦日の夜、ふるさと館をちよつとのぞいてみませんか？

ことしも、たのしい「ちびっこ新年会」へ

「ちびっこ新年会」は一月十一日(日)、朝十時からです。昨年以上に楽しい催しをいっぱい考えました。ご家族おそろいでお越しください。

ゲームや工作コーナー、映画作りなど、大人も子どももいっしょに楽しめる一日です。「小中学生の年賀状展」も同時開催です。

ことしもサケの稚魚がふ化しました。水温12℃で、産卵から50日目にあたる12月2日に1匹目が、そして7日までに次々と500匹の小さな生命が誕生しました。

稚魚はまだ砂利の中にいます。おなかについているオレンジ色の袋(卵の黄味の部分)に栄養が入っており、これを吸収し終わると餌を取りに活発に泳ぎ出します。小型水槽のアクリル面と砂利の間で成長している稚魚のようすがご覧いただけます。

ふるさと館のスタッフが産卵直後からふ化までのようすをビデオテープに記録しました。館内のテレビでサケが誕生する瞬間をご覧ください。

サーモン通信 ③



撮影=居川研治(12月24日)

(4)コタンに生きるその2

「ピンピン、ピンピン」クメはムックリを口にくわえ、右手で思い切り引っぱった。

学校から泣きながら帰ったクメは、教科書やノートの入った風呂敷包を家の中にほうりこむとばあ

ちゃんからもらった大切なムックリをにぎりしめて、いちもくさんに茜空の中を走り、スキの穂のおいしげの途別川の川原にやってきたのである。初めは、はげしく強くそしてやがてゆっくりやさしく、美しい音色となって夕日に輝く川面に広がっていった。

クメは、今日学校で起きた出来ごとを1つひとつ思い出していった。久しぶりに学校へ出たその日の休み時間のことだった。たむろしていた和人の男の子が、クメに向かっていきなり「あっ、イヌだ」と、さげんではやしたて、他の子

もつられて「くさい」とか「毛深い」とか口々にさげんで逃げて行ったのである。

そこへ、そっと肩に手をかけた女の子がいた。幼なじみのスミであった。スミは和人の子であったが、長い黒髪で

くりくりとした瞳の美しいクメが大好きであった。そして誰よりもクメの弾くムックリの理解者だった。

明治になって多くの移民が入り、その数もアイヌを上回るようになってきた。その頃の幕別町には、ヤムワッカ(幕別)・イカンベツ(相川)・チロット(千住)・ベツチャロ(札内)に、それぞれコタン(小さな村)があり、その後マカンベツ(千住にあった)コタンができ、全体でおよそ300人の人口があった。十勝の山や川、大地を自由にかげめぐり狩漁生活をしてきたアイヌの人々は、土地のこと、農耕のこと、教育のこと、民族文化のことなど、様々な困難に直面したのである。

(小助川勝義・記)

幕別 連載 第12回 ものがたり